



ジニア・フロフュージョン

～ 育て方とワンポイントアドバイス ～



わい性の百日草で、夏～秋にかけて長期間咲き続ける強い花です。
分枝性が高く、花付きが良いのが特徴です。

植え方の手順

- ① できるだけ日当たりと水はけのよい場所を選びます。
日当たりが悪いと株が軟弱になり、花つきが悪くなります。
- ② 有機質土壌改良材(腐葉土など)と緩効性化成肥料をまきます。
腐葉土・堆肥などは、土の保肥性・保水性・通気性を高め、微生物の活動を活発にするので、堅く締まった土に鋤込むと効果的。ただし、肥料分は不十分なので化成肥料も必要です。
- ③ 腐葉土などを鋤きこみながら深さ 30 cm くらい耕します。
小石や根、雑草はできるだけ取り除きましょう。
- ④ 20cm 間隔程度で植え付けます。
ポット苗の根鉢を少しほぐして、花壇の土となじみがよくなるようにしましょう。

★ 1 m あたりの量の目安 ★

- 腐葉土：10 畝（バケツ1杯程度）
 - 化成肥料：200～250 g
- 〔マグアンプK（ハイポネックス）
マイガーデン（住友化学園芸）等〕

育て方のポイント

- こまめに花ガラ摘み
次の花を充実させ、病気の予防になります。
- 適度に枝葉の間引き
茎葉の茂り過ぎで風通しが悪いと、蒸れて下から枝が伸びなくなり開花が途切れます。
- 水のやりすぎは根腐れの原因
乾燥に強いので、土が乾いてから水やりしましょう。
ただし、水切れ状態が長く続くと花や株が小さくなってしまいます。
- 定期的に追肥
長期間開花するので、スタミナ切れに注意です。（目安：10日に1回液体肥料）

★ 水やりの注意 ★

過湿には弱いですが、水切れ状態が長く続くと花や株が小さくなるので注意

水やりはしているのに大きく育たない…。手入れはしているのに花つきが悪い…。
花の育て方や病害虫でお困りの際にはぜひご相談ください！

神戸市公園緑化協会 公園緑地課 緑花事業推進室 園芸相談コーナー

TEL：078-341-8705 Mail LINE ZOOM にて

相談日：月2回程度

相談時間：午前10～12時、午後1～4時

※詳細な日付については、緑花事業推進室 HP (<https://www.kobe-park.or.jp/hanamidori/>)
をご覧ください。